

参考資料 「トマト栽培終了後の植物体の処分方法」

TYLCV発生地域では、栽培終了後にハウスを蒸し込み、TYLCVの感染株とタバコナジラミ類を野外に出さないようにしましょう。

	蒸し込み前の準備	作業の時期	作業方法	蒸し込み期間	残さの処分方法	土壌消毒
すき込む場合	ハウス内の除草を行う。 ハウス内のコナジラミ類を防除する。	曇雨天日か早朝の涼しい時間	防虫ネットを設置したまま、トラクターですき込む。	晴天日が10日以上確保できるまで蒸し込む。 (最低7日)		改良陽熱消毒の実施
枯らす場合	ハウス内の除草を行う。	いつでも	栽培終了後、すぐに株元から根を切断するか引き抜く。	ハウスを密閉して蒸し込み、トマトが枯死したのを確認した後、10日以上蒸し込む。 (最低7日) 残さを持ち出す。	一か所にまとめ、上から古ビニールで被覆し、しばらく放置する。こぼれ種子からの発芽苗等にも注意する。 残さの焼却の場合は、周辺への影響に注意する。ビニール等燃やせないゴミは絶対に燃やさない。 また、事前に最寄りの消防署に焼却日時を連絡しておく。	